

伝技塾

3回連続講座

日本のステンドグラスその歴史と魅力

日本の近代建築を見ていると、必ずと言って良いほど、美しいステンドグラスに会えます。今回はこの日本のステンドグラスの歴史と作品、技法などについて、3回にわたり講座を開きます。

日程

第1回 2004年11月24日(水)

「日本の建築とステンドグラス」

講師：内田青蔵 松本健治 田辺千代

日本の近代建築に詳しい内田氏と、ステンドグラスを製作している松本氏、それを研究している田辺氏の三人に、我国のステンドグラスの歴史を紐解いていただきます。

第2回 2004年12月22日(水)

「日本のステンドグラス作家たち」

講師：田辺千代

田辺氏の発見した小川三知の青森における作品が最近TV放映されました。未知の作家三崎弥三郎らの作家を通してステンドグラスの魅力に迫ります。

第3回 2005年1月19日(水)

「ステンドグラスの技法と作品」

講師：松本健治・松本一郎

聞き手：大平秀和

旧川上貞奴邸(大正9)のステンドグラス復元を例にして、ステンドグラスの技法と、先人の著名な作品等について詳しく話していただきます。(※番外で見学会も計画中)

会場：東京芸術劇場大会議室

住所 豊島区西池袋1-8-1

時間：18:30~21:00(開場18:00)

定員：先着100名(要申し込み)

参加費：各回1000円(一括払2900円)

主催・申し込み：

伝統技法研究会 担当：曾根田

〒167-0074 新宿区北新宿1-4-9

03-3367-1165 *03-3367-1175

メール dengi@kta.biglobe.ne.jp

内田 青蔵 うちだ せいぞう

1953年秋田県生まれ

文化女子大学教授

工学博士、専門は日本近代住宅史

著書『あめりか屋商品住宅』『日本の近代住宅』

『図説・近代日本住宅史』

『消えたモダン東京』『同潤会に学べ-

住まいの思想とそのデザイン』他。

松本 健治 まつもと けんじ

1946年東京都生まれ

(株)松本ステンドグラス製作所代表

健治氏の父三郎氏が、我国に始めてス

テンドグラスの技法を伝えた山本(宇

野澤)辰雄の直系工房「宇野澤組ス

テンドグラス製作所」で修業し、昭和23

年に工房を創業。作品は住宅や公共建

築を飾る。また、国会議事堂などの歴

史的建築物のステンドグラスの修復に

努める。

田辺 千代 たなべ ちよ

1942年福島県生まれ

ステンドグラス研究者

神奈川新聞「ぼぷり欄」のライター

時代にステンドグラスに興味を持ち、

独自にこの歴史を調べ始める。横浜最

古のステンドグラスを発見する。著

書に論文「日本のステンドグラス史」。

松本 一郎 まつもと いちろう

1972年東京都生まれ

松本家の三代目で、現場の職人として

第一線で活躍する傍ら、先人の創った

ステンドグラスを訪ね歩く。田辺氏の

研究を技術的見地から応援している。

大平 秀和 おおひら ひでかず

1957年東京都生まれ

大平建築設計工房主催

(協)伝統技法研究会組合員、

旧川上貞奴邸復元工事を担当する他、

歴史的建築物の調査・再生や、一般建

築の設計監理を行っている。

